

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

- 1 実施日 平成29年 4月18日(火)
- 2 調査対象 第3学年生徒27名
- 3 調査内容
 - (1) 教科に関する調査(国語A, 国語B 数学A, 数学B)

Aは主として「知識」に関する問題, Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

- (1) 教科に関する調査

国語A(主として知識に関する問題), 国語B(主として活用に関する問題)はともに, おおむね全国平均と同程度でした。

数学A(主として知識に関する問題), 数学B(主として活用に関する問題)はともに, おおむね全国平均と同程度でした。

- (2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

- 「学校で好きな授業はある」とする生徒の割合が高いです。
- 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」, 「授業で扱うノートには, 学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いている」と回答した生徒の割合が高くなっています。
- 「家の人は授業参観や運動会などの学校行事に来る」とした生徒の割合が多いです。

課題が見られた項目

- 「授業で生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う」, 「友達と話し合うとき, 友達の考えを受け止めて, 自分の考えを持つことができる」, 「友達と話し合うとき, 友達の話や意見を最後まで聞くことができる」, 「友達と話し合うとき, 自分の考えをしっかりと伝えている」とした生徒の割合が低くなっています。
- 「家で学校の宿題をしている」, 「家で, 自分で計画を立てて勉強をしている」において, あまりしていない, 全くしていないと回答した生徒の割合がやや高いです。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果で, 根拠をもとに自分の考えを書く力, 自分の考えを説明する力, 資料を正確に分析し, 説明する力が十分身に付いていないことが課題としてあげられます。そこで, 基礎的基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに, 日々の授業を充実させるために福島県や南相馬市から出されている「ふくしまの授業スタンダード」, 「南相馬の授業スタイル」を使用しながら次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 書く機会を確保するとともに, 分かりやすく考えを伝えるための書き方の指導をする。
- ・ 目的を明確にしたペアやグループでの話し合いを取り入れる。

また, 家庭学習の習慣化の確立のために, 家庭学習のやり方を支援するとともに保護者と連携を図っていきます。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて, 次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- ・ 早寝・早起き・朝ごはんを規則正しい生活をしながら, 家庭学習の時間を確保する。
- ・ 新聞記事やテレビのニュース等を話題にして, 保護者の考えを伝えたり, 子どもの思いを聞いたりする。